

「研究者保護プログラム」の運用について

【研究者保護プログラムについて】

「研究者保護プログラム」は、文章の剽窃と画像加工に関するチェックツール「iThenticate」及び「LP-exam Pro」を用いて投稿前の学術論文をチェックすることにより、偶発的な「研究不正」に巻き込まれること防ぐ、研究者のためのプログラムです。学術論文に関する先生方のご負担を軽減することを目的としており、メールを1通送るだけで簡単に利用することができます。

2016年12月1日より試験的導入を開始しており、使用料を無料としております。2017年度からは臨床研究支援の取組の1つとし、特定臨床研究における学術論文には必ず使用していただき、結果として臨床研究の質の向上と円滑な実施に貢献したいと考えております。最終的には本プログラムを有料化し、その利用料金よりプログラム運営費を捻出したいと考えておりますが、当面の間については、無料を継続したいと考えております。

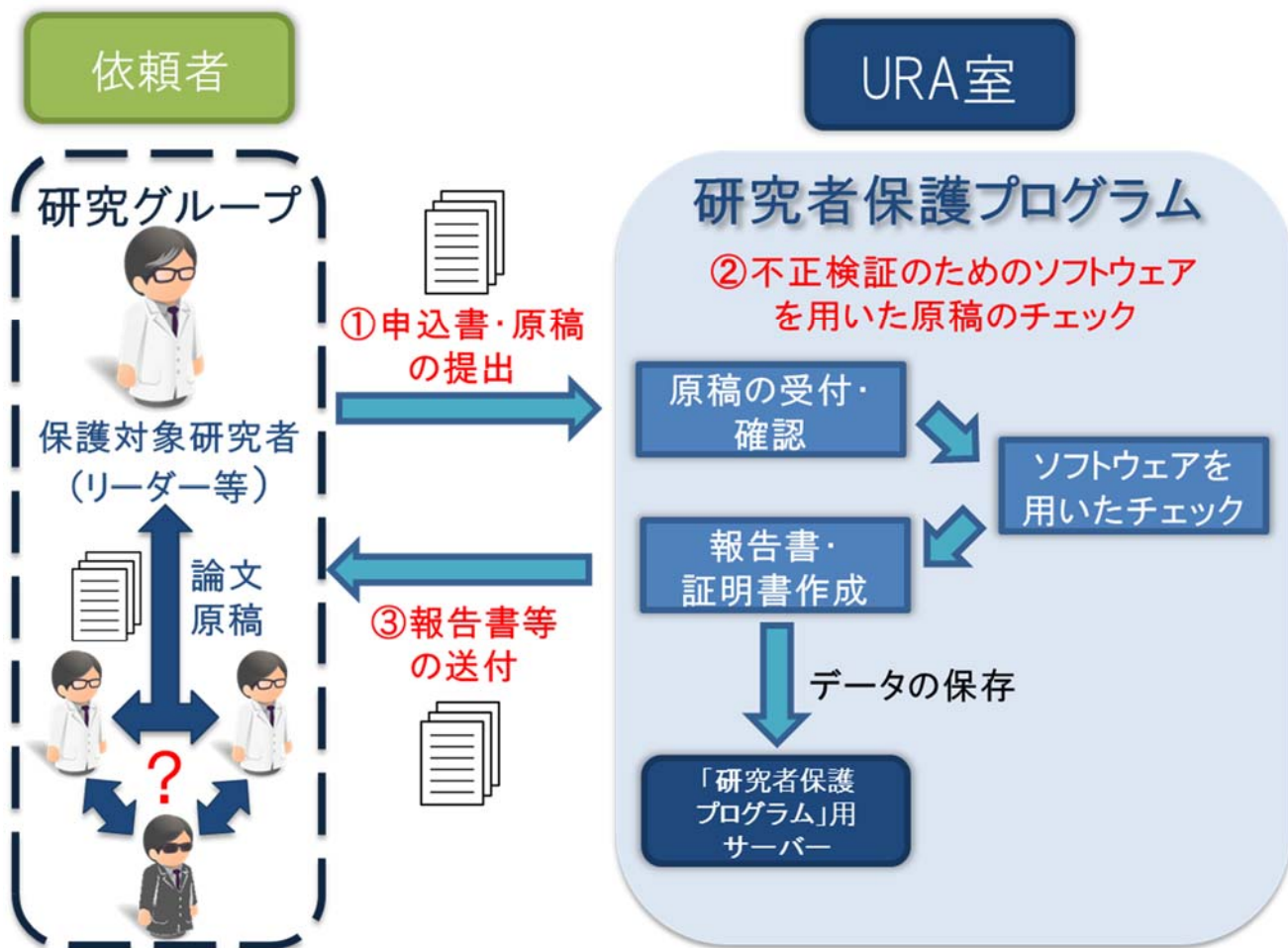
本プログラムの運用につきましては、引き続き、URAが窓口・作業等の実務を担当いたします。

【想定される使用目的】

- 学術論文投稿時のチェック作業の省力化
- 論文作成時の人的ミスの防止
- 学術論文の質と信頼性の保証

【手続きの流れ】

- ① 依頼者（本学の教職員及び研究員）が新たに発表する論文や著書の前稿（電子ファイル）を担当部署（URA）にメール等にて提出。
※提出書類にはパスワードの設定をお願いいたします。
※提出書類のファイル形式は、文書はWord又はPDF（ファイルサイズ：40MB以下）でお願いします。
※25,000 words以内を1件と扱い、25,000 wordsを超えたものは2件と扱います。
※図につきましては、TIFF、PNG、JPG、PDFのいずれかのファイル形式で、1つの図を1つのファイルに保存して送付して下さい。
- ② 実務担当者が、不正検証のためのソフトウェア（iThenticate、LP-exam Pro）を用いて、文章と画像のチェック。
- ③ 解析結果レポート、及び管理番号を含む証明書を発行し、依頼者に送付（結果の判断や共著者間での共有につきましては、依頼者にお任せします）。（申し込みの当日または翌日にはレポートを送付いたしますが、担当者が出張等で不在の場合はその期間分、お時間をいただきます）



【論文原稿の送付、及び問い合わせ先】

「研究者保護プログラム」のご利用やご質問等につきましては、下記メールアドレスにご連絡下さい。
皆様にご活用いただければ幸いです。

本件担当：URA 松本匡史

原稿の送付・問い合わせ用アドレス：ithenticate@okayama-u.ac.jp